

CCDバーコードリーダー
BC-PS800P
BC-PS800PL

ユーザーズ・マニュアル
(設定マニュアル)

【印刷時のご注意】

設定用バーコードは、印刷品質によっては線が乱れて読取が困難になる場合があります。
お使いのプリンタの性能に応じ、高画質モードで印刷されることをおすすめいたします。

株式会社ビジコム

2012.5. Ver.4.4

BUSICOM 

この度は、バーコードリーダーをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、バーコードリーダーの取り扱い方法及び各機能設定方法について説明しております。

本装置を使用する前に、必ず本書をお読みの上、内容を十分にご理解した上で正しく使用してください。

■注意事項

- 機器は絶対に分解・改造しないでください。
- 読取窓から光源を見つめたり、人の目に光源を当てたりしないでください。
- 幼児の手の届かない場所でご利用ください。
- バーコードの読取以外で使用しないでください。
- 医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。

■安全に正しくご使用いただくために

- 直射日光が長時間あたる場所、粉塵の多い場所、湿気が多い場所、油煙や湯気のあたる場所、急激な温度変化のある場所、暖房器具など発熱物の近くでは使用・保管しないでください。
- ケーブルに重いものを載せないでください。また、ケーブルを無理に引張ったりねじったり、ケーブルを持って持ち運んだりしないでください。
- 故障・破損したままで使用しないでください。
- 濡れた手で取り扱わないでください。
- 長期的な振動や、落下等の強いショックを与えないでください。
- ケーブル類は、できるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。ノイズや故障等の原因になります。
- 本機の受光部に、水・油・ほこりなどを付着させないでください。
- シンナー・ベンジンなどの溶剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

<お問合せ先>

株式会社ビジコム パソコンPOSセンター
〒112-0014
東京都文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル
TEL: 03-5229-5193 FAX: 03-5229-5199
Web: <http://www.busicom.co.jp>
E-Mail: info@poscenter.jp
営業時間: 平日10:00～18:00

インデックス

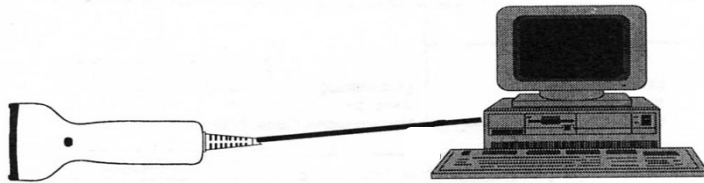
1 接続方法	1
2 設定手順	2
3 用語の意味	3
4 出力データフォーマット	4
5 初期設定	5
6 出荷時設定	6
7 キーボードインターフェース	7
8 各種設定1	8
9 各種設定2	9
10 各種設定3	10
11 RS232Cパラメータ	11
12 プリアンブルとポストアンブルの設定	12
13 EAN-13/JAN-13	13
14 UPC-A	14
15 EAN-8/JAN-8	15
16 CODE 39	16
17 Interleaved 2 of 5	17
18 Industrial 2 of 5 / IATA	18
19 CODABAR / NW7	19
20 16進 テーブルコード表	20
21 ASCII コード表	21

1 接続方法

例:USBタイプ Windows ME/2000/XP/Vista/7 の場合

PCに電源を投入し、Windowsを起動します。
PCのUSBポートにバーコードリーダーを接続します。
Windowsが自動的にHIDドライバ(「USB ヒューマンインターフェイス デバイス」ドライバ)を検索し、インストールを行います。
インストールが完了すると、ツールバーから「新しいハードウェアが見つかりました」等のポップアップメッセージが表示されます。

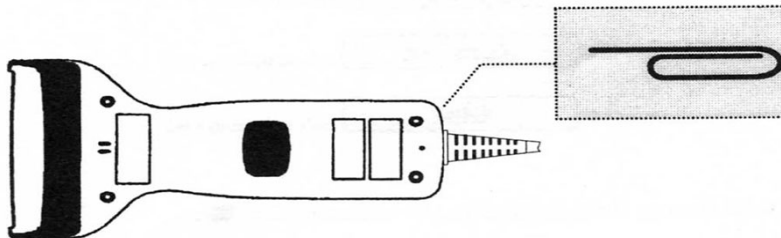
＊お使いのOSによっては「新しいハードウェアの追加ウィザード」が開きますので、ウィザードに従ってインストールを行ってください。



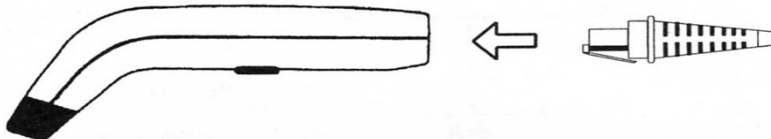
ケーブルの取り扱いについて

本機のケーブルはモジュラーコネクタによって接続されています。
強く引っ張ったり、ねじったり、ケーブルを持って振り回したりしないでください。
(ケーブル故障は保証外となります)

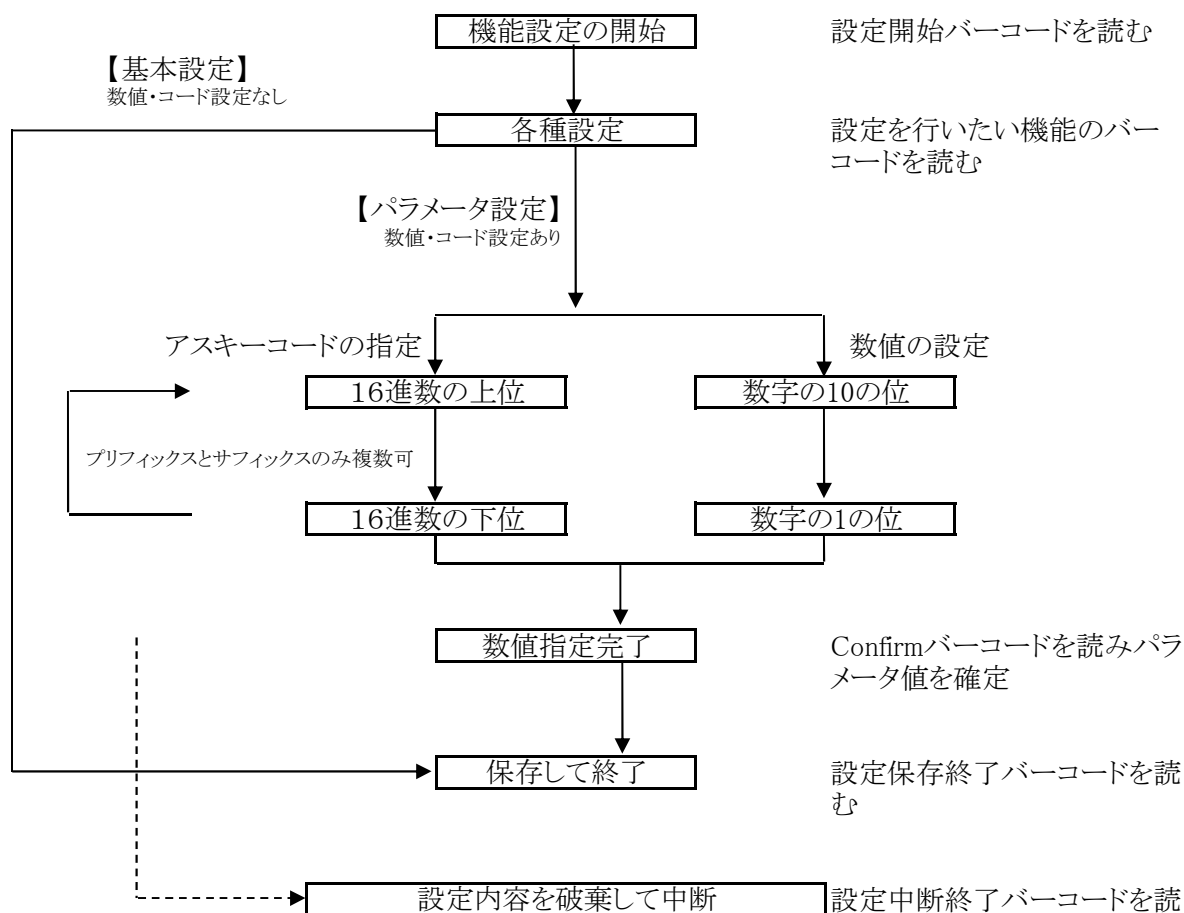
ケーブルを取り外す必要がある時は、本体の内側下部にあるロック解除穴にクリップなどの細いピンを差し込み、押したままケーブルを自然な力で引いてください。



ケーブルを取り付ける際は、モジュラーコネクタを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
完全に接続されていないと、正常に動作しません。



2 設定手順



* 設定を行っている最中にわからなくなってしまった場合には、設定内容を工場出荷状態（デフォルト）に戻して、最初から行う事をお勧めいたします。工場出荷時の設定は各項目に＜ ＞で示されています。

3 用語の意味

①設定項目名... 各機能の設定項目の名前

②設定開始バーコード... 設定を開始する際に1番最初に読み込むバーコード

設定機能名... 各設定の機能の名前

③機能設定バーコード... 各設定機能のためのバーコード

設定説明... 各種設定内容の説明

工場出荷値... 工場出荷状態の設定の表記は< >

設定範囲... 設定する際の決められた範囲

設定中断終了バーコード

③設定保存終了バーコード... 設定を終了する際に1番最後に読み込むバーコード

Interleaved 2 of 5	
読み込み	<無効> このコードは無効にて設定しております。 有効
フォーマット	<標準> 一般にInterleaved 2 of 5は、1文字のバーコードで2個の数字を表しています。文字数が奇数個の場合には、奇数コード(ODD S-code)として読み込む必要がありますので、奇数コードを設定してください。 奇数コード
チェックサム検査	<無効> チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、Interleaved 2 of 5ではモジュラス10のエイト3を利用しています。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。このコードは性質上誤読が多いので、チェックサムをつけての運用をお勧めします。 有効
チェックサム転送	<無効> チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を設定してください。 有効
予備	<無効> 有効
トランケートデジット	リーディングデジット 範囲:0010-1510 エンディングデジット パーコードの前後の指定文字数(1~15文字)を制限。設定値が0でなければ、バーコードデータキャラクタの初めか終わりの数値は切り捨てられます。トランケート数値がバーコードデータの桁かトランケートリーディングの数値より大きいのか、トランケートリーディングの数値がエンディングデジットと重複するとピー音が鳴るだけで読み取りがされません。トランケートの最
設定中断終了	
設定保存終了	

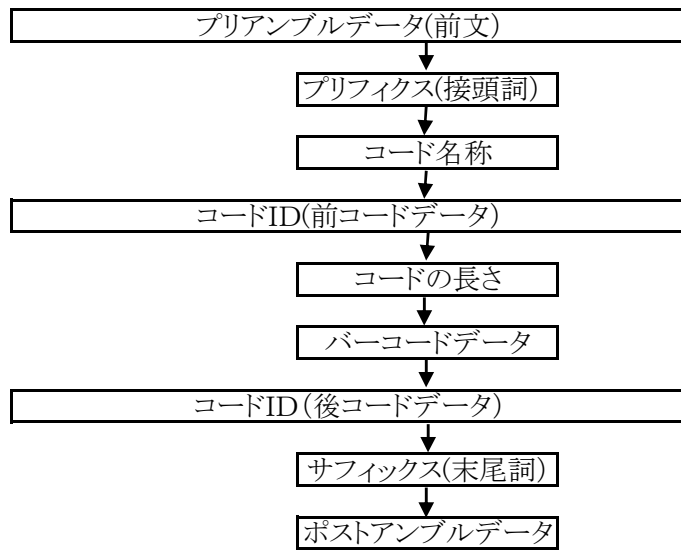
設定の仕方

スキャナーの全機能設定は本取扱説明書のバーコードを読み込むことにて行います。以下の設定の仕方を参考にして必要なページをA4にて印字した上、読んで設定願います。

- ①設定したい項目のページを開きます。
- ②設定開始のバーコードを読み込みます。
- ③設定したい機能の設定用バーコードを読み込みます。
- ④設定保存終了のバーコードを読み込みます。

4 出力データフォーマット

読み込んだバーコードの前後に必要なデータを付加させることができます。



5 初期設定

DEFAULTのバーコードを読み込み時の内容です。

バーコードの設定内容

コード種類	読込有効	最小限の長さ	最大限の長さ	コードID
UPC-A	○	-	-	
UPC-E	○	-	-	
EAN 13(JAN 13)	○	-	-	
EAN 8(JAN 8)	○	-	-	
Code 39	○			
Interleaved 2 of 5	○			
Industrial 2 of 5				
Martrix 2 of 5				
UCC EAN/128 *注意				
Codabar/NW7	○			
Code 128	○			
Code 93	○			
Code 11	○			
MSI/Plessey	○			
UPC-EAN Add ON 2/5				
IATA Code				
ISBN				

6 出荷時の設定

☆出荷時の設定内容

弊社のバーコードリーダは、下記の設定をして出荷しております。
出荷時の設定に戻されたい場合は、下記の手順に従って作業してください



設定開始

- A) デフォルトの設定をします。
デフォルトのバーコードを読みます。



デフォルト

- B) インタフェース設定



USB



KeyBoad



RS232C

詳細設定は、弊社までご連絡
をお願い致します。

- C) 日本語のキーボードの設定をします。
言語設定で、日本語を選択します。



日本語

設定終了バーコードを読みます。



設定終了

注意

上記の設定は出荷時の設定に戻されたいときに行ってください。
何らかの事情で調子が悪くなったとき等、上記の設定をお薦めいたします。



☆キーボードのタイプ

キーボードは、日本仕様(DOS/V)に設定してあります。しかし、お客様で特別に設定されたい場合や、初期化して再度設定したい場合に登録してください。



<IBM PC/AT,PS2>



MAC SE



IBM PS/2 25,30



PS-55

☆キーボード言語

工場出荷時は英語キーボードに設定されていますが、弊社では日本語キーボードに再設定して出荷しています。初期化した場合は、設定に注意してください



<英語>



日本語

☆キーボードスピード

キーボードのスピードは、ノーマルで設定してあります。特に遅い場合を除いて、この設定にて動作させてください。



<ノーマル>



ターボ

☆終端データ(PS2タイプ 及び USBタイプ)

バーコードデータの後ろに付くキーキャラクタを設定します。初期設定の「CR」は、Enterキーに相当します。



NONE



ESC



<CR>



CTRL-C



空白



EXEC



TAB

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆読込モード1

読み込みモードは、バーコードリーダの読込をどのような状態するかを設定します。



〈読込後 消灯〉



連続読取



トリガスイッチにて動作



テストモード

☆読込モード2

光線の出力時間を設定する場合に使用します。
デフォルトは、3秒に設定してあります。
設定は、右のバーコードを読込した後、HEXラベルの
テーブルを読んで時間を設定します。



トリガ ONしてからの光線のOFF時間

☆読込モード3

☆大文字/小文字



自動



〈小文字〉



大文字

☆10キーパッド

この設定を行うと、10キーに合わせた形式の動作ができます。

10キーパッドの設定をONにして、NUM LOCKをOFFにすると、1の場合 END 4左 6は右 2は下 8は上矢印と同じ動作をする事ができます。



ON



〈Off〉

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)





☆ブザー

ブザーの高さと長さの設定を変更することができます。
設定は、右のバーコードを読んだから、16進コードを読込んで行います。

高さの設定: 00 高い←-----→低い 22 (00は消音)
長さの設定: 00 短い←-----→長い 99

数値は2桁で設定します。
巻末の「16進テーブルコード表」で数字バーコードを2つ読み、
Confirm コードを読んで数値を確定します。



ブザーの高さ(00-22)



ブザーの長さ(00-99)

☆パワーアップトーン

電源入力時に、起動音を発生させるかの設定をします。



<ON>



OFF

☆LED表示

LEDの表示を設定します。
デフォルトでは、ノーマル状態で点灯し、バーコード読込でOFFします。
別の設定では、ノーマル時OFFで、バーコード読込で点灯します。



<ノーマル時 ON>



ノーマル時 OFF

☆ インターフェース

バーコードリーダのインターフェースの設定を行います。
USB及びPS/2タイプは、「KeyBoad」を選択してください



KeyBoad



RS232C

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆コードID

読込んだバーコードの種類別コードをデータの先頭に表示させます。
データは、SETテーブルによって表示させる文字が違います。



CODE ID=ON



<CODE ID=OFF>



Set1



Set2



Set3



Set4



Set5

☆Code ID Set1-Set5 テーブル表

	Set1	Set2	Set3	Set4	Set5	
Code39	A	C	Y	M	A	
Industrial 2 of 5	C	H	H	H	S	
Inteleave 2 of 5	D	I	Z	I	S	
Matrix 2 of 5	E	G	G	G	S	
Codabar	F	N	X	N	F	
Code 93	I	L	L	L	G	
Code 128	H	K	K	K	C	
EAN8	P	B	B	FF	E	
Ean13	M	A	A	FF	E	
MSI	V	V	D	P	M	
UPCA	M	A	A	A	E	

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆終端データ

データの最後にどのデータを付加するかを選択します。



NONE



ESC



<CR>



CTR-C



CR/LF



STX..EXT



LF



XON. . XOFF



SPACE



EOT



TAB

☆ボーレートの設定



300



600



1200



2400



4800



<9600>



19200



38400

☆データ長・パリティ

セットアップ データビット



7 ビット



<8ビット>

セットアップ パリティ



<NONE>



Even



Odd

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)



12 プリアンブルとポストアンブルの設定の仕方

設定開始



☆プリアンブル（例 バーコードデータの先頭に”A”を付加したい場合）

読込データの先頭に、予め設定したキャラクタを登録する事ができます。（最大10文字まで）

- 1 ページの右上の設定開始のコードを読みます。
- 2 プリアンブルコードを読みます。
- 3 巻末の「ASCIIコード表」から付加したいキャラクタを探し、該当する16進コード（上・左2桁）を「16進テーブルコード表」のバーコードを読んでセットします。
例 ”A”の場合は、ASCIIコード表で上:4、左:1 ですので16進コードは”41”となります。
16進コード表の”4”と”1”のバーコードを読み込みます。
- 4 Confirm コードを読みます。
- 5 ページ右下の設定終了バーコードを読みます。



☆ポストアンブル（例 データの末尾に”A”を付加したい場合）

読込データの末尾に、予め設定したキャラクタを登録する事ができます。（最大10文字まで）

- 1 ページの右上の設定開始のコードを読みます。
- 2 ポストアンブルコードを読みます。
- 3 巻末の「ASCIIコード表」から付加したいキャラクタを探し、該当する16進コード（上・左2桁）を「16進テーブルコード表」のバーコードを読んでセットします。
例 ”A”の場合は、ASCIIコード表で上:4、左:1 ですので16進コードは”41”となります。
16進コード表の”4”と”1”のバーコードを読み込みます。
- 4 Confirm コードを読みます。
- 5 ページ右下の設定終了バーコードを読みます。



☆プリアンブルとポストアンブルデータを消去したい場合

- 1 ページ右上の設定開始バーコードを読みます。
- 2 クリアしたいバーコード（プリアンブルかポストアンブルか）を読みます。
- 3 Clearバーコードを読みます。
- 4 ページ右下の設定終了バーコードを読みます。



ABORT（設定中断終了）



END（設定保存終了）





☆読取の設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆ISBN/ISSN 転換

ISBN (国際標準図書番号)とISSN (国際標準逐次刊物番号)は、2種類のバーコードブックラベルです。
ISBNは978がついた10桁の数字で、ISSNはEAN-13のコード体系がついた8桁の数字です。

※ISBN ON設定時には、必ずISBN=10の設定を実行してください。



ON

⇒



ISBN=10



<OFF>

☆ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。



ON



<OFF>

☆ADD/ON設定

定期刊行物(雑誌)コードを読み込む際、この設定をします。
このコードは、通常のJAN-13に5桁の数字がついています。



ON



<OFF>

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。



ON



<OFF>

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆EAN-8 コンバート EAN-13

EAN-8 (JAN-8) のコードの先頭に5桁の0を付加します。



ON



<OFF>

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆Start/End キャラクター 転送

スタート/エンドキャラクタ（*）を転送するか否かを選択します。



ON



<OFF>

☆チェックサムの設定

チェックサム(モジュラス43)のチェックを行うかを設定します。
弊社では、チェックをお勧めします。



ON



<OFF>

☆フォーマット

フルASCII CODE-39は、CODE-39の強化版で、全てのASCII
コードを表す128キャラクターのデータです。



<Srandard>



Full ASCII

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆チェック(モジュラス10)

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。



ON



<OFF>

☆バーコード長セット

バーコードの読込巾を設定します。(デフォルトは Min:2 Max:48)

- 1 設定開始バーコードを読込みます。
- 2 右のバーコード長設定バーコードを読込みます。
- 3 16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
(最低 6桁 最大 10桁の場合「0」「6」「1」「0」の順に読取ります。)
- 4 16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります



バーコード長設定

☆



ユーザー設定

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取不可になっております。



ON



<OFF>

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆チェック(モジュラス10)

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。



ON



<OFF>

☆バーコード長セット

バーコードの読込巾を設定します。(デフォルトは Min:2 Max:48)

- 1 設定開始バーコードを読込みます。
- 2 右のバーコード長設定バーコードを読込みます。
- 3 16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
(最低 6桁 最大 10桁の場合「0」「6」「1」「0」の順に読取ります。)
- 4 16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります



バーコード長設定

☆ IATA

IATAの読取の設定です。
通常は、OFFに設定されています。



ON



<OFF>

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可になっております。



<ON>



OFF

☆スタート・ストップコード転送

CODABAR/ NW7のスタートストップコードをパソコンに転送する場合に指定します。



ON



<OFF>

☆スタート・ストップ種類

Codabar/NW7は 6種類のスタートとストップコードが用意されていますので、ご使用されるバーコードの種類に合わせて1つ選択してください



ABCD/ABCD



ABCD/TN*E



abcd/abcd



abcd/tn*e

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





0



8



1



9



2



A



3



B



4



C



5



D



6



E



7



F



Confirm

16進コードは2桁で設定します。

任意の2つのバーコードを読み、次に Confirm コードを読んで確定します。

<例> 16進コード“41”の場合

“4” → “1” → “Confirm” と読み込みます。

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)



21 ASCII コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	O	@	P		p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	DEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	-	-	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	-	o	DEL.

*キャラクタのセット方法

「ASCIIコード表」から設定したいキャラクタを探し、該当する16進コード(上・左2桁)を導きます。
そのコードを、前ページ「16進テーブルコード表」のバーコードを読んでセットします。

<例> "A"の場合は、上:4、左:1 ですので、16進コードは"41"となります。